



## 学習院大学

### 柿沼万里江氏（パウル・クレー・センター 研究員）講演会

#### 絵画、音楽、テキスト、テクスチャー メディアを横断するパウル・クレーの創造

2023年1月16日（月）13:00-14:30 Zoom開催

20世紀前半に活動した芸術家のなかで、パウル・クレーほど絵画、音楽、文学の境界を超えるために「テクスチャー」を戦略的要素として意識的に作品に取り入れた画家はいないだろう。音楽と文学の才能にも恵まれた彼の作品には、時間性と物質性、遊戯性と時代批判が複雑に絡み合っていることが見て取れる。本講演では、メディアを横断するクレーの創造を「テクスチャー」という概念を基軸に考察し、その現代性を解明する。

#### 柿沼万里江さんプロフィール

上智大学で哲学、学習院大学とチューリヒ大学の大学院で美術史を専攻。チューリヒ大学に勤務後、2016年よりベルンのパウル・クレー・センター美術史専門研究員。専門はドイツ語圏の近現代美術史、特にパウル・クレー研究。近年は、芸術作品の由来、来歴の調査研究にも従事。パウル・クレーに関するドイツ語の著作多数。日本語での近著は、『日々はひとつの響き ヴァルザー＝クレー詩画集』：ローベルト・ヴァルザー詩／パウル・クレー画／柿沼万里江編／若林恵・松鶴功記訳、平凡社 2018年。

【主催】 学習院大学ドイツ語圏文化学科 【文学・文化専門演習(2)担当】 若林

パウル・クレー 《ポリフォニックにはめ込まれた白》1930年  
パウル・クレー・センター、ベルン  
@Zentrum Paul Klee, Bern, Bildarchiv

科研費  
KAKENHI